
平成28年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成28年3月8日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員（維新）
- 2 白井 正子 委員（共産党）
- 3 伊波 俊之助 委員（自民党）
- 4 渡邊 忠則 委員（自民党）
- 5 行田 朝仁 委員（公明党）
- 6 木原 幹雄 委員（民主党）
- 7 青木 マキ 委員（無・ネ）

健康福祉局

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（維 新）

1 ごみ問題を抱えている人への支援事業について

- (1) 問題解決に向けての福祉的支援の具体例について伺いたい。
- (2) 現在、区役所職員が行っている対応と今後の変化について伺いたい。
- (3) 現場の声を反映したマニュアルを策定する必要があると思うが、どうか。
- (4) 取組姿勢についての市民理解を得るための促進策について伺いたい。

2 生活支援体制整備事業について

- (1) 生活支援コーディネーターの役割について伺いたい。
- (2) 生活支援体制整備事業の進め方について伺いたい。
- (3) 生活支援体制整備事業の進捗状況の把握と評価について伺いたい。
- (4) 生活支援の充実には新たな担い手が必要と考えるが、どうか。

3 敬老特別乗車証交付事業について

- (1) 28年度見直し検討スケジュールについて伺いたい。
- (2) バス利用実態調査の手法と結果について伺いたい。
- (3) ICカード化の検討期間及び協議機関について伺いたい。
- (4) 詳細なデータ分析ができるシステム設計にすべきと考えるが、どうか。
- (5) 敬老パスの利用者負担の考え方について伺いたい。

4 依存症対策について

- (1) 28年度の依存症対策の取組内容について伺いたい。
- (2) 市内の依存症の患者数について伺いたい。
- (3) ギャンブル依存症に対する本市の現状の取組や対応の件数について伺いたい。
- (4) ギャンブル依存症の実態把握を行う必要があると考えるが、どうか。
- (5) 青少年や企業に対する啓発について伺いたい。

(6) カジノに伴うギャンブル依存症対策について伺いたい。

5 小児医療費助成事業について

(1) 小児医療費助成制度のさらなる拡充に向けての課題について伺いたい。

(2) 一部負担金導入に伴う財政的影響について伺いたい。

2 白井正子委員（共産党）

1 介護離職ゼロに向けた特養整備について

- (1) 介護離職ゼロに対する本市の考え方について伺いたい。
- (2) 国有地を活用した特養整備とはどのようなものか伺いたい。
- (3) 今後の特養整備の考え方について伺いたい。

2 介護保険・国民健康保険について

- (1) 低所得者に対する国の財政支援による介護保険料への影響について伺いたい。
- (2) 介護保険料の引き下げを実施してどのようになったか伺いたい。
- (3) 国民健康保険加入世帯のうち、所得200万円未満及び所得100万円未満の世帯の割合について伺いたい。
- (4) 国の低所得者対策は不十分と思われるが、どうか。
- (5) 子どもがいる世帯の国民健康保険料減免の今後の実施予定について伺いたい。
(要望) 子どもがいる世帯の国民健康保険料減免は、一般会計からの繰入により継続していただきたい。
- (6) 国民健康保険の都道府県単位化の概要について伺いたい。
- (7) 国民健康保険の都道府県単位化による保険料の増減について伺いたい。
- (8) 国の財政措置に対しての要望について伺いたい。
(要望) 財政措置について、しっかりと国の責任を求めていただきたい。

3 小児医療費助成事業について

- (1) 対象年齢拡大にともない事業名称を見直し、構えを示してはどうか。
- (2) 現時点で、拡大の対象年齢について示すべきと思うが、どうか。
- (3) 本市が負担している一部負担金の額について伺いたい。
- (4) 小児医療費助成事業は子どもの貧困対策として位置付けられたが、制度所管部署としての認識を伺いたい。
- (5) 一部負担金の導入は貧困対策に逆行すると思うが、どうか。

3 伊波俊之助 委員（自民党）

1 親亡き後の支援策について

- (1) 後見的支援事業の実績について伺いたい。
- (2) 後見的支援事業の成果と今後の展望について伺いたい。

2 障害者の就労支援について

- (1) 就労支援センターの支援実績について伺いたい。
- (2) 就労支援センターの課題について伺いたい。
- (3) 就労支援センターの今後の取組について伺いたい。

3 自殺対策について

- (1) 本市におけるこれまでの取組と評価について伺いたい。
- (2) 自殺対策についての今後の取組姿勢について伺いたい。

4 がん検診事業について

- (1) 内視鏡検査による胃がん検診モデル事業における課題整理の状況について伺いたい。
- (2) 28年度の内視鏡検査による胃がん検診事業の概要について伺いたい。
- (3) 今後の内視鏡検査による胃がん検診事業をより充実させるための取組について伺いたい。
- (4) 28年度におけるがん検診の受診勧奨の取組について伺いたい。

5 よこはまウォーキングポイント事業について

- (1) 働く世代の参加促進に向けた具体的な対策について伺いたい。
- (2) より若い世代からの早期の健康づくり対策に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 寿地区対策について

- (1) 再整備される寿町総合労働福祉会館の施設目的について伺いたい。
- (2) 寿地区の福祉保健活動の強化に向け、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (要望) 高齢化が進む本市他地域にもこのような取組を広げていただくことを強く要望する。

7 地域包括ケアシステムについて

- (1) 今後どのように地域包括ケアシステムの構築を図るのか伺いたい。
- (2) 地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携が重要と考えるが、認識を伺いたい。
- (3) 生活支援・介護予防の充実・強化において、地域住民の果たす役割をどう考えているか伺いたい。
- (要望) 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる横浜を実現できるよう、地域包括ケアシステムの構築に着実に取り組んでいただきたい。

8 民生委員制度について

- (1) 本市では民生委員の欠員対策をどのように行っているのか伺いたい。
- (2) 民生委員制度100周年に向けてどのように取り組むのか伺いたい。

9 介護職員の人材確保策について

- (1) 本市において、地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保の実施状況について伺いたい。
- (2) 28年度予算における介護人材確保に関する施策について伺いたい。
- (3) 介護職員の処遇改善加算制度の内容について伺いたい。
- (4) 介護職員の待遇の改善について、国に強く要望すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 新採用職員に対して、介護職員初任者研修を受講させることを検討していただきたい。

4 渡 邊 忠 則 委員（自民党）

1 よこはまウォーキングポイント事業について

- (1) 27年度事業検証結果から見るウォーキングポイント事業の評価について伺いたい。
- (2) 東京大学との研究成果を本市施策の中でどのように展開していくのか伺いたい。

2 マイナンバーの活用について

- (1) 本市国民健康保険の場合、保険証は手続きをすればすぐに交付されるのか伺いたい。
 - (2) マイナンバーカードで本人確認ができる場合は、国民健康保険証を即時交付できないのか伺いたい。
- (要望) マイナンバー制度を積極的に活用し、市民サービスの向上及び事務の効率化に取り組むことを要望する。

3 高齢者を囲む地域福祉事業について

- (1) 入浴サービスデーの実施日の分散について協議の状況を伺いたい。
 - (2) 月2回の複数回実施で利用分散を図ることについての見解を伺いたい。
 - (3) 実施日の拡大を図る考えはないか伺いたい。
- (要望) 防災や要援護者支援の観点も含めた地域の拠点の一つとして、区と連携しさらなる銭湯の活用を検討していただくよう要望する。

4 特別養護老人ホームについて

- (1) 高齢者施設・住まいの相談センターの相談実績について伺いたい。
- (2) 「施設のコンシェルジュ」を配置することによる効果について伺いたい。
- (3) 大規模修繕事業を実施した場合の効果について伺いたい。
- (4) 国有地を活用した本市の特養整備の考え方について伺いたい。

(要望) 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、特養整備を前倒し・上乗せしていくことについて、積極的に検討していくことを要望する。

5 斎場運営事業について

(1) 市営4斎場と民営西寺尾火葬場の過去3年分の火葬実績について伺いたい。

(2) 市営斎場ではどのような火葬待ち対策を行ったのか伺いたい。

(意見) 今後の超高齢社会の進展や斎場の配置バランスを踏まえると、将来的に本市の東部方面に新たに市営の斎場が必要と考える。

(要望) 新たな整備が簡単ではないことは承知しているが、検討を進めるよう要望する。

5 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)

1 地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケアプラザの運営について

- (1) 現状における地域ケアプラザの業務実施上の課題について伺いたい。
- (2) 今回の加配がもたらす効果について伺いたい。
- (3) 加配の基準は求められる役割を果たすために十分なものと考えるか伺いたい。
(要望) 現場から見るともう一段の措置が必要と思われるため、さらなる対応策について検討を要望する。
- (4) 地域ケアプラザの人材の質を高めるために、どのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (5) 地域ケア会議の開催状況について伺いたい。
- (6) 地域ケア会議の質の向上に向けて、どのように取り組んでいるのか伺いたい。
- (7) 地域ケアプラザの意見を柔軟に予算執行に反映させる仕組みが必要だと考えるが、どうか。
- (8) 地域ケアプラザの認知度を高めるための広報をどのように進めていくのか伺いたい。
(要望) 地域ケアプラザの存在が多くの人に認識され、いざという時に確実に相談、支援に結びつくことができるよう、さらなる取組を要望する。

2 精神保健福祉の推進について

- (1) 本市における精神障害者数の動向について伺いたい。
- (2) 区福祉保健センターで行っている相談や訪問などの利用者への対応の現状について伺いたい。
- (3) 補助方式で運営する精神障害者生活支援センターについて今後どのように機能を強化していくのか伺いたい。
- (4) 補助方式で運営する精神障害者生活支援センター全体の「地域移行・地域定着支援事業」が実施される時期はいつになるのか伺いたい。
- (5) 精神保健福祉施策全体を充実させるため今後どのように取り組んでいくのか

伺いたい。

3 依存症対策について

- (1) アルコールや薬物などへの依存について早期に発見し、適切な医療に繋げるための取組について伺いたい。
- (2) 依存症の患者や家族を孤立させず、行政としてどのように支援していくのか伺いたい。

4 介護ロボットの導入促進について

- (1) 本市における介護人材確保の考え方について伺いたい。
- (2) 市内の介護施設における介護ロボットの活用例及び効果について伺いたい。
- (3) 本市の介護ロボット導入に向けた方向性について伺いたい。

5 食品の適正表示推進事業について

- (1) 神奈川県から移譲される食品表示法の権限の内容について伺いたい。
- (2) 権限移譲による市民のメリットについて伺いたい。
- (3) 本市はどのような体制で移譲された事務に取り組むのか伺いたい。
- (4) 食の安全安心の確保の考え方について伺いたい。

6 福祉分野の人材育成について

- (1) 今後の福祉分野の人材育成について、超高齢社会を迎えた本市としてどのようなビジョンを持って臨むのか伺いたい。
- (要望) 福祉に携わる人材を充実させるために、将来に向けて必要な投資を行っていただきたい。

6 木原幹雄委員（民主党）

1 地域包括ケアシステムの実現に向けた介護サービスの充実について

- (1) 小規模多機能型及び看護小規模多機能型サービスの整備の考え方について伺いたい。
- (2) 整備における課題をどのように認識しているか伺いたい。
- (3) 未整備圏域の解消に向けた取組について伺いたい。
- (4) 地域密着型サービス事業者に対する運営支援の考え方について伺いたい。
- (5) 運営支援の具体的な取組について伺いたい。

2 認知症カフェについて

- (1) 本市では「認知症カフェ」がどのくらいあるのか伺いたい。
- (2) 今後「認知症カフェ」をどのくらい増やしていこうと考えているのか伺いたい。
- (3) 「認知症カフェ」をどのように支援していくのか伺いたい。

3 介護者支援について

- (1) 介護者の負担についてどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 介護者自身の立場にたった支援をどのように進めていくのか伺いたい。
- (3) 孤立している介護者を支援にどのようにつないでいくのか伺いたい。

4 医療費適正化に向けたデータヘルス計画について

- (1) 本市国民健康保険の医療費の現状について伺いたい。
- (2) 医療費の抑制に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (3) データヘルス計画策定による医療費抑制効果への期待について伺いたい。
- (4) データヘルス計画と医療局で取り組む医療ビッグデータ活用事業と連携を図り、医療の質を高めつつ、適正化を一層進めるべきと思うが、見解を伺いたい。

7 青 木 マ キ 委 員 (無 ・ ネ)

- 1 介護予防・日常生活支援サービス事業について
 - (1) 生活保護世帯の動向について伺いたい。
 - (2) 介護予防・日常生活支援サービス事業とこれまでの給付事業との違いと、実施する意義について伺いたい。
 - (3) サービスA（緩和した基準によるサービス）がどのように開始されていくのか伺いたい。
 - (4) サービスAを来年度から開始すると決めた根拠について伺いたい。
 - (5) 訪問型サービスから始める根拠を伺いたい。
 - (6) 訪問型サービスが実施できると考えた理由について伺いたい。
 - (7) アンケート結果では訪問型サービスが実施できないという回答が51.3%あるが、この結果をどのように考えているのか伺いたい。
 - (8) サービスの担い手についてどのように考えているのか伺いたい。
 - (9) サービスAを実施する事業者がいなかった場合、この事業はどうなるのか伺いたい。
 - (10) 予算額67億円のうち、サービスAと現行相当サービスの割合について伺いたい。
 - (11) サービスAの実施期間が5か月あるが、その間の報酬単価が予算に反映されていないと思われるが、どうか。
 - (要望) サービスAに係る介護報酬については90%としたが、適性の賃金が確保されるよう、国に対し働きかけてもらいたい。
 - (12) 通所型サービスについては、現行相当でやっていくと考えてよいか伺いたい。
 - (13) 介護予防・日常生活支援サービス事業は、平成29年度以降どうなるのか伺いたい。
 - (14) 通所型サービスについても多様なサービスが参入していく可能性があるのか伺いたい。
 - (15) 事業の周知・広報の実施状況について伺いたい。

(16) 今後の広報・周知について伺いたい。

2 民間活力による高齢者見守り推進事業について

(1) 予算減額の理由について伺いたい。

(2) 減額の理由は、配食サービスの減ということによいか。

(3) 事業対象者の見直しも含め、要支援相当の方にこそ配食サービスは必要なサービスと思うが、どうか。

(要望) 配食サービスは本来要支援相当・要介護1の方にこそ必要なサービスであるため、対象者の見直しをしていただきたい。

3 子どもの貧困対策について

(1) 子どもの貧困対策における健康福祉局の役割について伺いたい。

(2) 寄り添い型の学習支援・生活支援のそれぞれの事業の成り立ちについて伺いたい。

(3) 寄り添い型学習支援事業の今後の展開について伺いたい。